

平成24年4月

随意契約に係る物品等又は役務の名称及び数量	随意契約を締結した日	随意契約の相手方の住所	随意契約の相手方の氏名	随意契約に係る契約金額(円)	随意契約によることとした理由
「five disciplines of innovation program agreement」 (SRIイノベーション五大原則ワークショップ契約)	平成24年4月3日	米国カリフォルニア州 94025Menlo Park,Ravenswood Avenue 333	SRIインターナショナル 契約部長 V.Rene Harmount	5,894,000	<p>本学は、国際社会に新たな価値を創造・提案することができる実践力を持ったイノベーション人材の育成を行うことを目的とし事業を展開しているところであるが、現在の日本において、実践的なイノベーション教育に関し、体制整備がなされていない状況にある。</p> <p>本件の契約相手方SRI Internationalは、教育先進国と呼ばれているフィンランド政府の依頼によりイノベーション教育を実施するなどの実績を持つとともに、平成21年度より本学のイノベーション策定にアドバイザーとして参加協力していることから、本学の事業を十分に理解しているところである。</p> <p>以上の理由により、SRI Internationalと随意契約を締結した。</p>

平成24年7月

随意契約に係る物品等又は役務の名称及び数量	随意契約を締結した日	随意契約の相手方の住所	随意契約の相手方の氏名	随意契約に係る契約金額(円)	随意契約によることとした理由
「監査契約」	平成24年7月20日	東京都新宿区津久戸町1番2号	有限責任あずさ監査法人 指定有限責任社員公認会計士 田中 輝彦 大立目 克哉	5,670,000	<p>国立大学法人は、国立大学法人法において準用する独立行政法人通則法により、会計監査人の監査を受けなければならない、その会計監査人は独立行政法人通則法に定める資格を有する者から文部科学大臣が選任することとなっている。</p> <p>このことから学内審査を行い、会計監査人第一候補者として有限責任あずさ監査法人の選任を文部科学大臣に対し求めたところ、同法人が本学の会計監査人に選任されたため、同法人と随意契約を締結した。</p>

平成24年9月

随意契約に係る物品等又は役務の名称及び数量	随意契約を締結した日	随意契約の相手方の住所	随意契約の相手方の氏名	随意契約に係る契約金額(円)	随意契約によることとした理由
原子間力顕微鏡アップグレード	平成24年9月4日	東京都中央区新川1-4-1	ブルカー・エイエックスエス株式会社 代表取締役 植木 定雄	7,394,688	上記契約については、ブルカー・エイエックスエス社が日本国内において直接販売しており、同法人以外が提供することはできないことから、随意契約を締結した。
核磁気共鳴分光計500MHz FT-NMR ECA500用付属装置	平成24年9月27日	東京都昭島市武蔵野3-1-2	株式会社JEOL RESONANCE 代表取締役 穴井 孝弘	8,400,000	上記契約については、株式会社JEOL RESONANCEが直接販売しており、同法人以外が提供することはできないことから、随意契約を締結した。

平成24年10月

随意契約に係る物品等又は役務の名称及び数量	随意契約を締結した日	随意契約の相手方の住所	随意契約の相手方の氏名	随意契約に係る契約金額(円)	随意契約によることとした理由
平成25年度大学機関別認証評価受審契約 一式	平成24年10月9日	東京都小平市学園西町1-29-1	独立行政法人大学評価・学位授与機構 機構長 野上 智行	7,380,000	<p>本業務は、全ての国立大学法人が独立行政法人大学評価・学位授与機構で受審している。また、国立大学法人に対する認証評価に関して機構は実績とノウハウを有しており、機構において受審することは本学にとってより適切に認証評価が実施され、本学の教育研究活動等の改善につながるものと考えられる。</p> <p>認証評価と法人評価という2つの評価制度に携わっている機構において受審することは、本学の対外的な説明の整合性という観点からも、評価業務の効率化という観点からも本学にとってメリットになる。</p> <p>以上の理由により、機構と随意契約を締結した。</p>

平成24年12月

随意契約に係る物品等又は役務の名称及び数量	随意契約を締結した日	随意契約の相手方の住所	随意契約の相手方の氏名	随意契約に係る契約金額(円)	随意契約によることとした理由
平成25年度入学試験情報処理業務 一式	平成24年12月5日	東京都江東区福住二丁目5番4号	日本電子計算株式会社 代表取締役社長 重木 昭信	6,711,678	<p>本業務は、複雑かつ膨大な入学試験の各種選考資料の作成及び試験結果からの諸統計資料の作成であり、極めて短期間に正確かつ秘密裡に処理する必要があるうえ、瑕疵が許されないため、十分な経験と実績が必要不可欠である。日本電子計算株式会社は、昭和50年度入学試験からこの業務を請け負っており、本業務のためのシステムを開発し、学科改組時や東日本大震災の影響による試験の中止、センター試験の制度変更にもプログラムの修正等によって迅速かつ正確に対応した経緯があり、十分な経験と実績を有している。</p> <p>また、費用の面等においても、新たにシステムを開発し、本業務を完全に行なうためには、莫大な時間と費用が必要なため、本学にとっても非常に不利である。その点で同社は、本業務のシステムを自社で開発しており、毎年の試験に合わせてプログラムの修正等を行なうのみであるため、費用も抑えられ、かつ信頼性も高い。よって、同社と随意契約を締結した。</p>
シュプリンガー・リンク電子ジャーナル	平成24年12月25日	Springer Customer Service Center GmbH Haberstrasse 7,69126 Heidelberg,Germany	Springer Customer Service Center GmbH President Global STM sales Syed A Hasan	6,164,067	<p>シュプリンガー・リンク電子ジャーナルの日本国内における販売及び取扱の全てについては、Springer Customer Service Center GmbH社が、直接販売しており、競争を許さないことから、同社と随意契約を締結した。</p>